



advantage

アヴァンタージュ

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)

2013年度 特別勘定の現況 (世界分散型40CM(512)/世界分散型20CM(513)) 決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

平成26年4月1日から、消費税率が5%から8%に引き上げられることから、
資産運用関係の費用を変更させていただきます。7ページの「運用関係費」をご確認ください。

ホームページアドレス <http://www.axa.co.jp/>

お問い合わせ先 **0120-375-193**

<受付時間> 月～金 9:00～19:00

土 9:00～17:00

(日・祝日、年末年始の当社休業日を除く)



【利用する投資信託の委託会社】三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社は、2012年4月に中央三井アセットマネジメント株式会社と住信アセットマネジメント株式会社が合併して誕生した投資信託委託会社です。現在、投資信託委託業務を中心に個人および法人のお客様に多様な商品サービスを提供しており、変額個人年金保険向け投資信託については特に力を入れています。

- ・アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしていきますので、合計等と合致しないことがあります。

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の現況(2013年度)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2013年4月～2014年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、上昇しました。東証株価指数(TOPIX)は前期末比+16.25%上昇の1,202.89ポイント(前期末は1,034.71ポイント)で終了しました。期初、日本銀行が事前予想を上回る大幅な金融緩和策を決定したことなどから大きく上昇して始まりましたが、米国の量的緩和縮小の見送りやシリア情勢の緊迫化などにより1月中旬ごろまで揉み合いながらも上昇基調で推移しました。その後、軟調な米国株式市場などを背景に下落しましたが、中国の経済指標の悪化や米国の経済指標の改善などを材料に揉み合いで推移して、今期を終えました。業種別(東証33業種)では、買収による海外事業の拡大が期待された「情報・通信業」(前期末比+40.27%)が最も上昇した一方、前年度の大暴落の反動から「倉庫・運輸関連」(同△2.93%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、上昇しました。NYダウは前期末比+12.89%上昇の16,457.66ドル(前期末は14,578.54ドル)で終了しました。今期前半は、シリア情勢の緊迫化や財政協議の先行き不透明感などから下落する局面もありましたが、好調な雇用統計や量的緩和縮小の見送りなどを受けて上昇し、揉み合いながら推移しました。今期後半は、与野党が財政協議で合意に達したことなどから上昇した後、新興国経済の先行き不透明感などから下落しましたが、ウクライナ情勢に対する警戒感の一服などから上昇基調で推移して、今期を終えました。

欧州株式市場は、上昇しました。概ね米国株式市場と同様の動きとなりましたが、金融政策を巡る動向やウクライナ情勢などにより、値動きが大きくなる局面がありました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比+2.91%上昇、仏CAC40は同+17.69%上昇、独DAXは同+22.59%上昇となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、金利が上昇しました。新発10年国債利回りは0.64%となりました(前期末は0.56%)。

今期前半は、日本銀行による大幅な金融緩和策決定などを受けて金利は大幅に低下(価格は上昇)しましたが、国内株式市場の上昇などにより上昇(価格は下落)に転じ、その後、米国の量的緩和縮小見送りなどを背景に低下基調で推移しました。今期後半は、米国の金利上昇などを受けて上昇後、国債需給の逼迫などから低下し、期末は国内株式市場の下落や需給の緩みが意識され、債券先物の売りが強まったことなどから揉み合いで推移して、今期を終えました。

日本銀行は4月に金融市場調節の操作目標をマタラーベースに変更し、マタラーベースが年間約60～70兆円に相当するペースで増加するように金融市場調節を行いました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、金利が大幅に上昇しました。米10年国債利回りは2.72%となりました(前期末は1.85%)。今期前半は、量的緩和と早期縮小観測や雇用統計の改善などを受けて、金利は大幅に上昇(価格は下落)しました。今期後半は、量的緩和縮小開始の決定などを背景に上昇後、新興国通貨の下落などを受けて低下(価格は上昇)しましたが、FRB(米連邦準備制度理事会)議長の見解により金融政策の継続性が確認されたことや好調な国債入札結果などから揉み合いで推移して、今期を終えました。

欧州債券市場は、金利が上昇しました。独10年国債利回りは1.57%となりました(前期末は1.29%)。概ね米国債券市場と同様の動きとなりましたが、期末にかけては、低下基調で推移しました。金融政策を巡る動向やウクライナ情勢などにより、金利の低下幅が広がる局面がありました。

FRBは、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.00～0.25%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は5月と11月に政策金利を0.25%ずつ引き下げ、年0.25%としました。

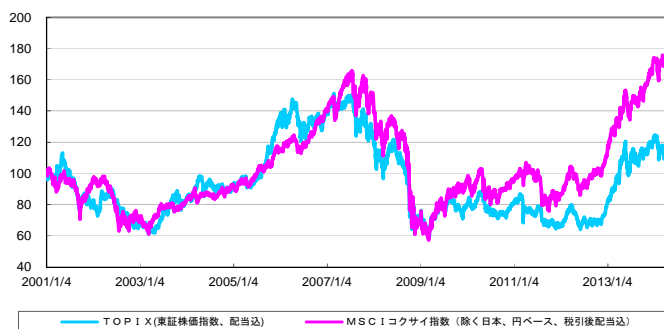
【外国為替市場】

外国為替市場は、前期末比較で概ね円安となりました。米ドル/円相場は、前期末比8円87銭円安ドル高の1ドル=102円92銭となりました(前期末比+9.43%上昇)。今期前半は、日本銀行の大幅な金融緩和策決定などから円安が加速する一方、世界的な株安を背景に円高の動きとなるなど、揉み合いながら推移しました。今期後半は、米国で量的緩和縮小開始が決定されたことなどから円安が進行した後、米国の利上げ時期を巡る動きやウクライナ情勢などから揉み合いで推移して、今期を終えました。

ユーロ/円相場は、前期末比20円92銭円安ユーロ高の1ユーロ=141円65銭となりました(前期末比+17.33%上昇)。今期前半は、日本銀行の大幅な金融緩和策決定などから円安が加速した後は、金融政策を巡る動向などから円安基調で推移しました。今期後半は、ドイツ株式市場の上昇などにより円安が進行した後、ECBの金融政策の動向やウクライナ情勢などから揉み合いで推移して、今期を終えました。

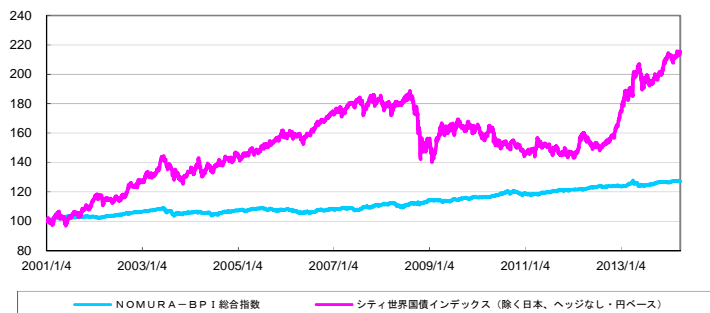
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

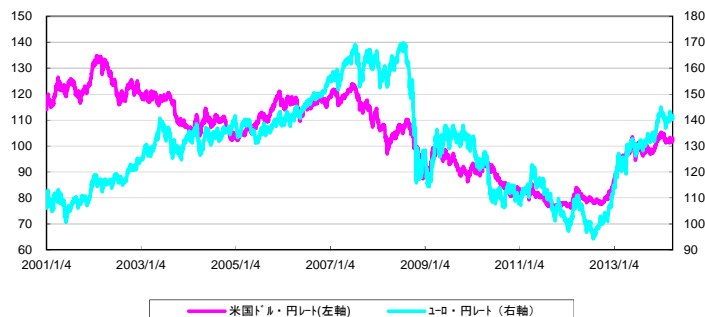


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所:株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL:0120-375-193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

【取扱者(生命保険募集人)】

三井住友信託銀行株式会社

保証金額付特別勘定年金特約（終身型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2013年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定「世界分散型40CM(512)」の運用方針および運用状況 [2014年3月末日現在]

特別勘定名	特別勘定の運用方針
世界分散型40CM(512)	当特別勘定は、主として国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託を運用対象としており、次年度も今年度と同様の運用方針で運用します。
利用する投資信託	利用する投資信託の運用方針
VAポートフォリオ40 (適格機関投資家専用)	<ul style="list-style-type: none"> ● 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドの基本配分比率は以下の通りとし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 日本株式マザーファンド20%、日本債券マザーファンド30%、 外国株式マザーファンド20%、外国債券マザーファンド30%* * 当ファンドは、外貨建債券資産および外国債券マザーファンドの組入れに伴う実質組入外貨建資産の50%部分の為替変動リスクに対しては、原則として為替ヘッジを行います。 ● 実際の資産配分については、基本配分比率に対して一定の変動許容幅を設け、その範囲内で調整を行います。 ● 当ファンドの主なリスク 株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク、為替リスク

・「ファミリーファンド方式」とは、投資家から投資された資金をまとめてベビーファンドとし、その資金をマザーファンドに投資して、その実質的な運用はマザーファンドで行う仕組みのことをいいます。

■特別勘定の運用コメント（2013年4月1日 - 2014年3月末日）

2013年度のユニットプライスの騰落率は+9.52%となりました。特別勘定で使用している投資信託の株式資産については、米国の景気回復期待などを受けて上昇しました。債券資産については、米国の量的金融緩和の縮小決定などを受けて金利は上昇し、債券価格は下落しました。ユニットプライスの価格変動に対しては、主に株式市場の価格上昇がプラスの影響を与えました。

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定のユニットプライス	騰落率(%)
2014年3月末	98.25 過去1ヵ月 0.21
2013年12月末	99.63 過去3ヵ月 ▲1.38
2013年9月末	94.43 過去6ヵ月 4.04
2013年6月末	91.89 過去1年 9.52
2013年3月末	89.71 過去3年 23.41
2012年12月末	82.75 設定来 ▲1.74

- ・特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年8月8日)を100.00として計算しております。
- ・騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型40CM(512)	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	10,468,273	98.9
現預金・その他	116,216	1.1
合計	10,584,489	100.0

- ・特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
- ・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	152,626
有価証券売却益	—
有価証券評価益	1,065,953
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	—
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	1,218,580

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL:0120-375-193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

【取扱者(生命保険募集人)】
三井住友信託銀行株式会社

保証金額付特別勘定年金特約（終身型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2013年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定「世界分散型20CM(513)」の運用方針および運用状況 [2014年3月末日現在]

特別勘定名	特別勘定の運用方針
世界分散型20CM(513)	当特別勘定は、主として国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託を運用対象としており、次年度も今年度と同様の運用方針で運用します。
利用する投資信託	利用する投資信託の運用方針
VAポートフォリオ20 (適格機関投資家専用)	<ul style="list-style-type: none"> ● 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドの基本配分比率は以下の通りとし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 日本株式マザーファンド10%、日本債券マザーファンド40%、 外国株式マザーファンド10%、外国債券マザーファンド40%* * 当ファンドは、外貨建債券資産および外国債券マザーファンドの組入れに伴う実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対しては、原則として為替ヘッジを行います。 ● 実際の資産配分については、基本配分比率に対して一定の変動許容幅を設け、その範囲内で調整を行います。 ● 当ファンドの主なリスク 株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク、為替リスク

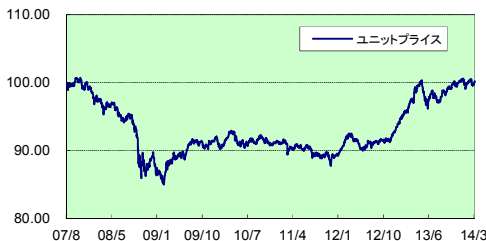
・「ファミリーファンド方式」とは、投資家から投資された資金をまとめてベビーファンドとし、その資金をマザーファンドに投資して、その実質的な運用はマザーファンドで行う仕組みのことをいいます。

■特別勘定の運用コメント（2013年4月1日 - 2014年3月末日）

2013年度のユニットプライスの騰落率は+2.78%となりました。特別勘定で使用している投資信託の株式資産については、米国の景気回復期待などを受けて上昇しました。債券資産については、米国の量的金融緩和の縮小決定などを受けて金利は上昇し、債券価格は下落しました。ユニットプライスの価格変動に対しては、主に株式市場の価格上昇がプラスの影響を与えました。

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定のユニットプライス	騰落率(%)
2014年3月末	100.19 過去1ヵ月 ▲0.11
2013年12月末	100.20 過去3ヵ月 ▲0.01
2013年9月末	98.53 過去6ヵ月 1.68
2013年6月末	97.26 過去1年 2.78
2013年3月末	97.48 過去3年 10.59
2012年12月末	93.87 設定来 0.19

- ・特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年8月9日)を100.00として計算しております。
- ・騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型20CM(513)	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	740,110	97.2
現預金・その他	21,140	2.8
合計	761,251	100.0

- ・特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
- ・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	19,124
有価証券売却益	—
有価証券評価益	21,395
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	—
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	40,520

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL: 0120-375-193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

【取扱者(生命保険募集人)】

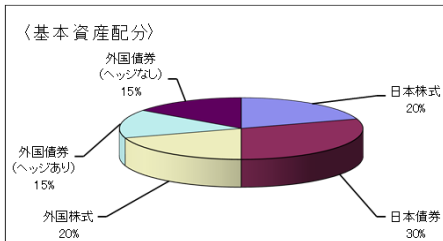
三井住友信託銀行株式会社

保証金額付特別勘定年金特約（終身型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2013年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

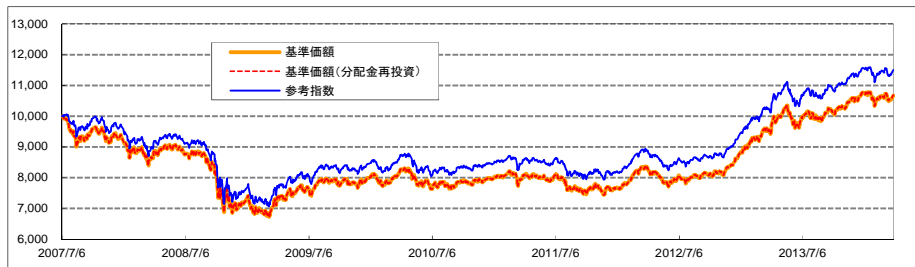
VAポートフォリオ40（適格機関投資家専用）の運用状況 [2014年3月末日現在]

■ファンドの特色



■基準価額の推移

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、VAポートフォリオ40(適格機関投資家専用)の設定日(2007年7月9日)の前営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.294%程度*(税抜0.28%程度))控除後の値です。*2014年4月1日以降年率0.3024%程度
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ・参考指数は、TOPIX(東証株価指数)20%、NOMURA-BPI総合30%、MSCIコクサイ指数(円ベース)20%、シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)15%、およびシティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)15%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2014年3月31日	前月末	前月末比
基準価額	10,668円	10,624円	+44円
純資産総額(百万円)	24,153	24,758	-605

	基準価額	日付
設定来高値	10,782円	2014年1月16日
設定来安値	6,724円	2009年3月10日

■資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式マザーファンド	20.0%	20.2%
日本債券マザーファンド	30.0%	29.7%
外国株式マザーファンド	20.0%	20.1%
外国債券マザーファンド(ヘッジあり)	15.0%	15.0%
外国債券マザーファンド(ヘッジなし)	15.0%	15.0%
コール・その他	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%

- ・ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率です。
- ・計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「コール・その他」の値がマイナスで表示されることがあります。
- ・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	+0.41%	-0.83%	+5.28%	+12.15%	+32.46%	+6.88%
参考指数	+0.40%	-0.65%	+5.23%	+12.47%	+34.06%	+15.00%
差	+0.02%	-0.17%	+0.05%	-0.31%	-1.61%	-8.12%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。

■分配金実績(税引前)

・下記は、1万円当たりの税引前分配金実績です。

決算日	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
分配金	20.00円	0.00円	0.00円	0.00円	0.00円	0.00円	20円

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】
 アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL:0120-375-193
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

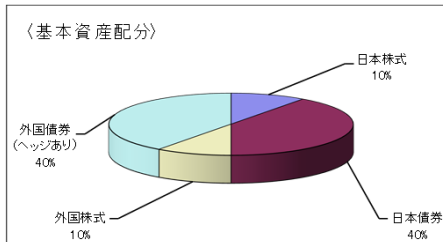
【取扱者(生命保険募集人)】
 三井住友信託銀行株式会社

保証金額付特別勘定年金特約（終身型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2013年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

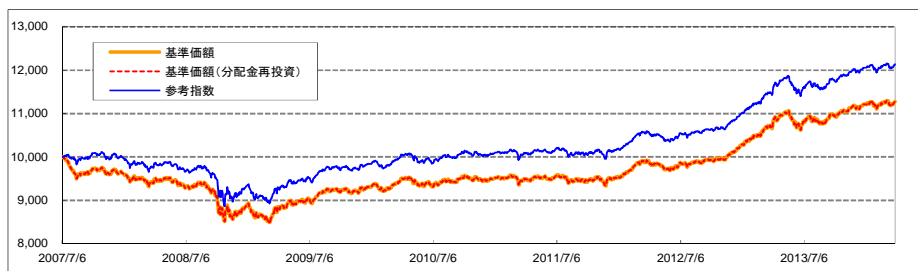
VAポートフォリオ20（適格機関投資家専用）の運用状況 [2014年3月末日現在]

■ファンドの特色



■基準価額の推移

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、VAポートフォリオ20（適格機関投資家専用）の設定日（2007年7月9日）の前営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額（分配金再投資）は、信託報酬（純資産総額に対し、年率0.294%程度*（税抜0.28%程度））控除後の値です。*2014年4月1日以降年率0.3024%程度
- ・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。
- ・参考指数は、TOPIX（東証株価指数）10%、NOMURA-BPI総合40%、MSCIコクサイ指数（円ベース）10%、シティ世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）40%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2014年3月31日	前月末	前月末比
基準価額	11,276円	11,266円	+10円
純資産総額（百万円）	1,518	1,561	-43

	基準価額	日付
設定来高値	11,298円	2014年3月7日
設定来安値	8,489円	2009年3月10日

■資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式マザーファンド	10.0%	10.2%
日本債券マザーファンド	40.0%	39.8%
外国株式マザーファンド	10.0%	10.1%
外国債券マザーファンド（ヘッジあり）	40.0%	40.4%
コール・その他	0.0%	-0.5%
合計	100.0%	100.0%

- ・ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率です。
- ・計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「コール・その他」の値がマイナスで表示されることがあります。
- ・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	+0.09%	+0.57%	+2.90%	+5.27%	+18.74%	+12.76%
参考指数	+0.10%	+0.66%	+3.04%	+5.65%	+20.18%	+21.35%
差	-0.01%	-0.09%	-0.14%	-0.38%	-1.43%	-8.59%

・ファンドの騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。

■分配金実績（税引前）

・下記は、1万口当たりの税引前分配金実績です。

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2014年2月21日	2013年2月21日	2012年2月21日	2011年2月21日	2010年2月22日	2009年2月23日	
分配金	0.00円	0.00円	0.00円	0.00円	0.00円	0.00円	0円

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL: 0120-375-193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

【取扱者（生命保険募集人）】
三井住友信託銀行株式会社

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行なっており、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払いもどし金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。

【諸費用について】

この保険では、「契約初期費用」、「保険契約管理費」、「運用関係費」の合計額をご負担いただきます。
※一般勘定で運用する年金の支払期間中には、年金管理費をご負担いただきます。

【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費用	ご契約の締結等に必要な費用 一時払保険料に対して 5.0%	特別勘定に繰り入れる際に、 一時払保険料から控除します。

【積立(運用)期間中および年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険契約管理費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要な費用 特別勘定の積立金額に対して 年率2.3%	積立金額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	投資信託の信託報酬など、特別勘定の運用等に必要な費用 投資信託の純資産総額に対して 年率0.294%程度(～3/31) 年率0.3024%程度(4/1～) (税抜0.28%程度)*	特別勘定にて利用する投資信託における純資産総額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、投資信託の純資産総額から控除します。

*運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客様にご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。

また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客様はこれらの費用を間接的に負担することとなります。

*運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

【一般勘定で運用する年金の支払期間中】

※年金の種類を変更した場合や「年金払特約(06)」により年金としてお受け取りいただく場合です。

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用 年金額に対して 1.0%*	年金支払日に責任準備金から控除します。

*年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

【その他の留意事項について】

■受取総額保証金額(終身型)

受取総額保証金額の最低保証は、年金を特別勘定終身年金でお受け取りいただく場合に限られます。特別勘定終身年金以外の方法でお受け取りいただく場合や、積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。